

国際交流委員会企画シンポジウム

世界の臨床心理学の現在、  
そして日本の臨床心理学の未来を考える  
—DSM-5の登場、国家資格化、多職種協働を踏まえて—

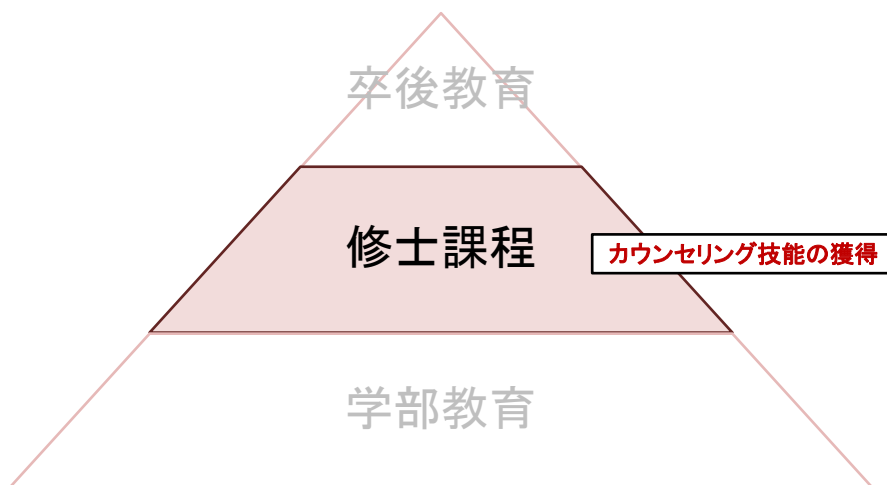
日本の臨床心理職の  
教育訓練システムの発展に向けて

高橋 美保(東京大学)

2014.8.24 日本心理臨床学会国際委員会シンポジウム・高橋美保

1

臨床心理職の教育



2014.8.24 日本心理臨床学会国際委員会シンポジウム・高橋美保

2

## 段階的教育訓練システム

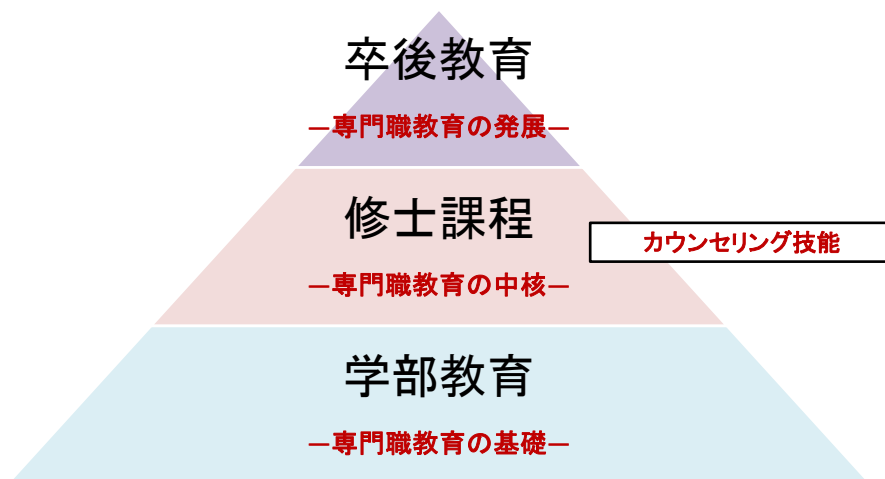
### • 教育段階

- ① **学部教育** : 2～4年間
- ② **修士課程** : 2年間
- ③ **卒後教育** : 博士課程 : 3年間

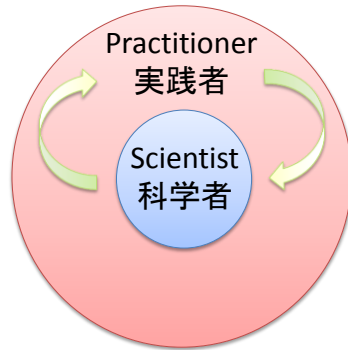
リカレント教育 : 生涯教育

教育を**長期的なスパン**でとらえる  
 ・**短期間**で実践的な学びを深めることの限界  
 ・常に更新される知識や知見を**アップデート**し続ける必要

## 臨床心理職の段階的教育



## 臨床心理職に求められる2つのモデル



科学者-実践者モデル

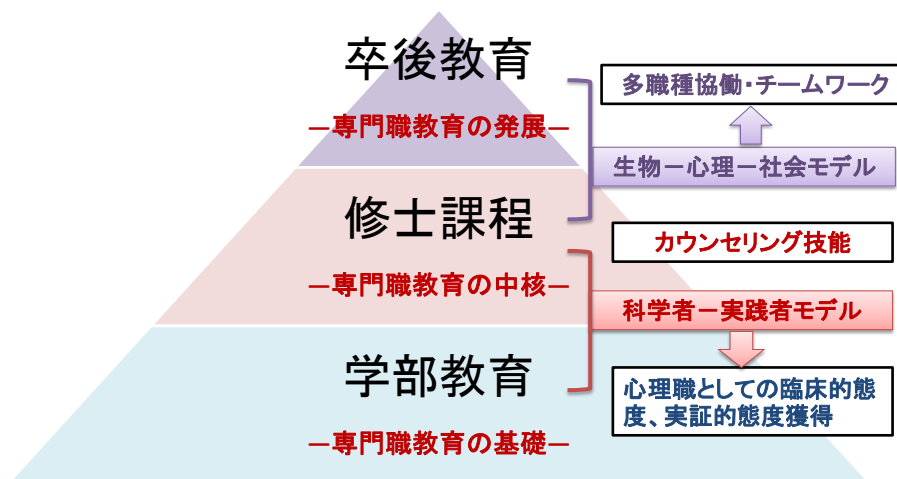


生物-心理-社会モデル

2014.8.24 日本心理臨床学会国際委員会シンポジウム・高橋美保

5

## 2つのモデルの教育への導入



2014.8.24 日本心理臨床学会国際委員会シンポジウム・高橋美保

6

## カリキュラムの内容

### 実践教育 ← 実践活動のための教育

カウンセリング技法

(コミュニケーション、ケースマネジメント)

アセスメント ⇒ 仮説 ⇒ 介入

各種心理療法の習得

相談室・外部実習先での実習

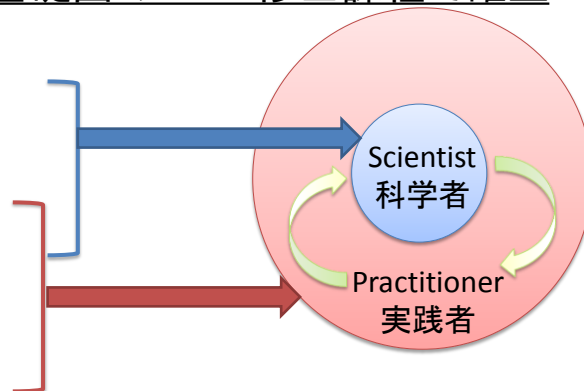
## 科学者—実践者モデルの導入

- 学部教育で基礎固め ⇒ 修士課程で確立

① 研究教育

② 実践教育

③ 専門職教育



## カリキュラム分類

### ①実践教育：実践活動のための教育

カウンセリング技法、アセスメントなど

### ②研究教育：“実証的態度”の獲得

実践を通しての研究

実践に関連する研究

研究者になるためではない

### ③専門職教育：“実践的態度”の獲得

専門的有効性を社会に説明

活動を社会システムに位置づける

職業アイデンティティの獲得

		実践教育	
学部教育		臨床心理学の基礎知識 心理療法の基礎知識	
	修士課程	精神障害、精神医学 カウンセリング技法、プレイセラピー、アセスメント、査定法 ケース担当、SV、カンファレンス 組織・法令の理解	
卒業教育	博士課程	リエゾンの知識 心理教育・研修 領域別アプローチ 問題別アプローチ 心理療法改良・開発	
	リカレント	知識のアップデート 領域別アプローチ 問題別アプローチ システムオーガニゼーション	

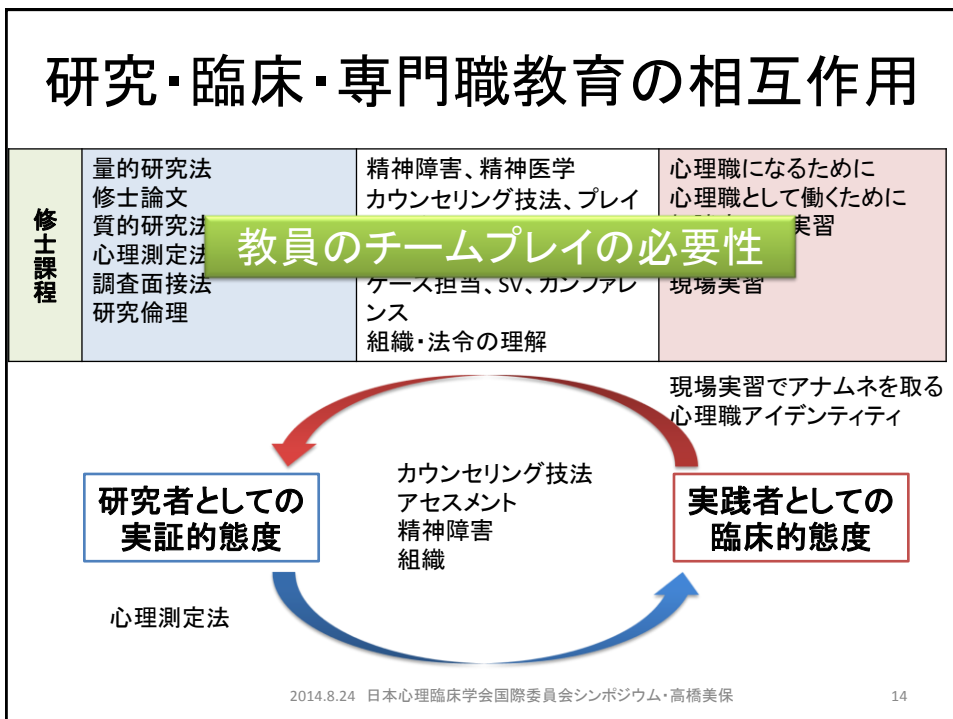
	研究教育	実践教育	
学部教育	心理学全般の基礎知識 研究の仕方 論文の書き方	臨床心理学の基礎知識 心理療法の基礎知識	
修士課程	量的研究 修士論文 質的研究 心理測定 調査面接 研究倫理	精神障害、精神医学 カウンセリング技法、プレイ セラピー、アセスメント、査 定法 ケース担当、SV、カンファレ ンス 組織・法令の理解	
卒後教育	博士課程 精神薬理 脳科学 博士論文 論文執筆 効果研究	リエゾンの知識 心理教育・研修 領域別アプローチ 問題別アプローチ 心理療法改良・開発	
	リカレント 現場研究の実施 研究チーム参画 論文執筆	知識のアップデート 領域別アプローチ 問題別アプローチ システムオーガニゼーション	

11

		実践教育	専門職教育
学部教育		臨床心理学の基礎知識 心理療法の基礎知識	職業としての心理職理解
修士課程		精神障害、精神医学 カウンセリング技法、プレイ セラピー、アセスメント、査 定法 ケース担当、SV、カンファレ ンス 組織・法令の理解	心理職に 心理職と 相談室で 事務研修 現場実習
卒後教育	博士課程	リエゾンの知識 心理教育・研修 領域別アプローチ 問題別アプローチ 心理療法改良・開発	多職種協 学外機関 研究成果 学会活動
	リカレント	知識のアップデート 領域別アプローチ 問題別アプローチ システムオーガニゼーション	多職種協働 チームワーク ストレスマネジメント 学会活動 実習生教育

12

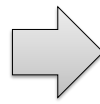
	研究教育	実践教育	専門職教育
学部教育	心理学全般の基礎知識 研究の仕方 論文の書き方	臨床心理学の基礎知識 心理療法の基礎知識	職業としての心理職理解
修士課程	量的研究法 修士論文 質的研究法 心理測定法 調査面接法 研究倫理	精神障害、精神医学 カウンセリング技法、プレイセラピー、アセスメント、査定法 ケース担当、SV、カンファレンス 組織・法令の理解	心理職になるために 心理職として働くために 相談室での実習 事務研修 現場実習
卒業後教育	博士課程 精神薬理 脳科学・睡眠・性 博士論文 論文執筆 効果研究	専門職の知識 心理教育・研修 領域別アプローチ 問題別アプローチ 心理療法改良・開発	多職種協働 学外機関での実践 研究成果公表 学会活動
	リカレント 現場研究の実施 研究チーム参画 論文執筆	知識のアップデート 領域別アプローチ 問題別アプローチ システムオーガニゼーション	多職種協働 チームワーク ストレスマネジメント 学会活動 実習生教育



## 生物-心理-社会モデルの導入

- 学部教育 ⇒ 卒後教育まで続く

心理の専門職として仕事をするために、  
生物・社会的な視点も含めて理解・援助する



カリキュラムを  
生物-心理-社会モデル  
に沿って整理

2014.8.24 日本心理臨床学会国際委員会シンポジウム・高橋美保

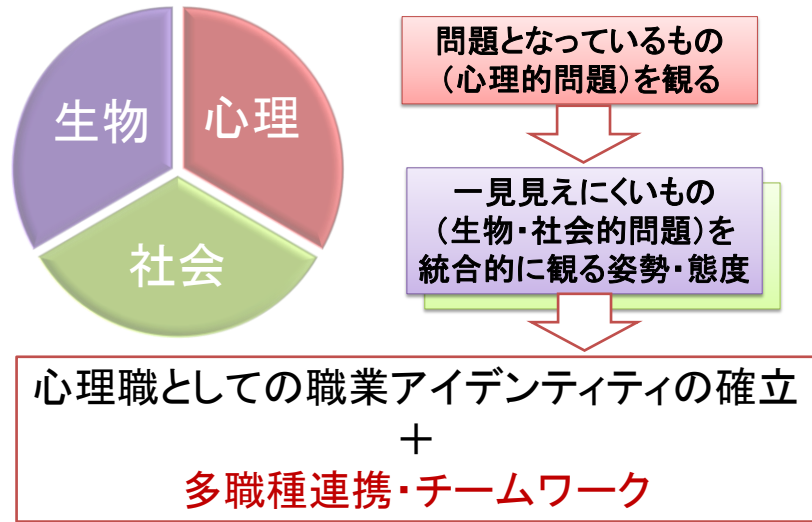
15

	研究教育	実践教育	専門職教育
学部教育	<b>生物</b> : 心理学全般の知識 <b>心理</b> : 研究の仕方 論文の書き方	<b>心理</b> : 臨床心理学基礎知識 心理療法基礎知識	<b>心理</b> : 心理職の職業理解
修士課程	<b>心理</b> : 量的研究法 修士論文 質的研究法 心理測定法 調査面接法 <b>社会</b> : 研究倫理	<b>生物</b> : 精神障害、精神医学 <b>心理</b> : カウンセリング技法、 プレイセラピー、アセスメント、 査定法 ケース担当、SV、カンファレンス <b>社会</b> : 組織・法令の理解	<b>心理</b> : 心理職になるために 心理職として働くために <b>社会</b> : 相談室での実習 事務研修 現場実習
卒後教育	<b>生物</b> : 精神薬理 脳科学・睡眠・性 <b>心理</b> : 博士論文 論文執筆 <b>社会</b> : 効果研究	<b>生物</b> : リエゾンの知識 <b>心理</b> : 心理教育・研修 領域別アプローチ 問題別アプローチ 心理療法改良・開発	<b>心理</b> : 多職種協働 <b>社会</b> : 学外機関での実践 研究成果公表 学会活動
	<b>心理</b> : 現場研究の実施 研究チーム参画 論文執筆	<b>生物</b> : 知識のアップデート <b>心理</b> : 知識のアップデート 領域別アプローチ 問題別アプローチ システムオーガニゼーション	<b>心理</b> : 多職種協働 チームワーク ストレスマネジメント <b>社会</b> : 学会活動 実習生教育

16



# 事象をとらえる視点として



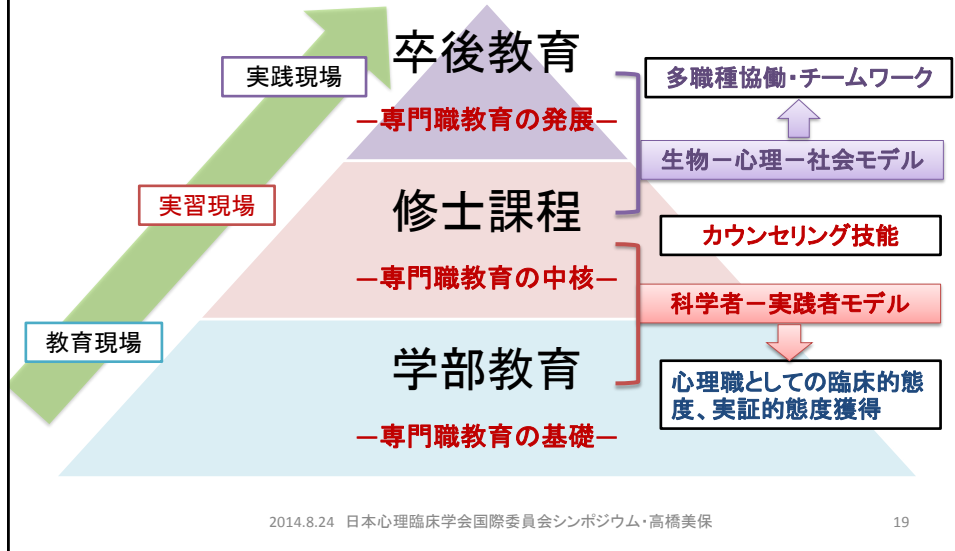
2014.8.24 日本心理臨床学会国際委員会シンポジウム・高橋美保

17

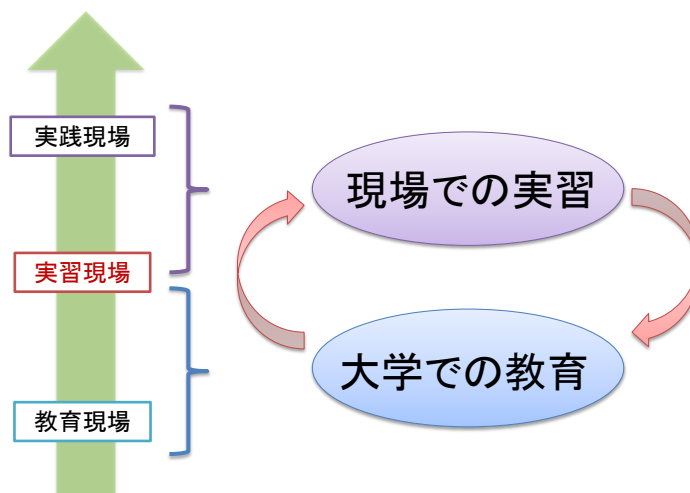
	研究教育	実践教育	専門職教育
学部教育	<b>生物:</b> 心理学全般の知識 <b>心理:</b> 研究の仕方 論文の書き方	<b>心理:</b> 臨床心理学基礎知識 心理療法基礎知識	<b>心理:</b> 心理職の職業理解
修士課程	<b>心理:</b> 量的研究法 修士論文 質的研究法 心理測定法 調査面接法 <b>社会:</b> 研究倫理	<b>生物:</b> 精神障害、精神医学 <b>心理:</b> カウンセリング技法、 プレイセラピー、アセスメント、 査定法 ケース担当、SV、カンファレンス <b>社会:</b> 組織・法令の理解	<b>心理:</b> 心理職になるために 心理職として働くために <b>社会:</b> 相談室での実習 事務研修 現場実習
卒業教育	<b>生物:</b> 精神薬理 脳科学・睡眠・性 <b>心理:</b> 博士論文 論文執筆 <b>社会:</b> 効果研究	<b>生物:</b> リエゾンの知識 <b>心理:</b> 心理教育・研修 領域別アプローチ 問題別アプローチ 心理療法改良・開発	<b>心理:</b> 多職種協働 <b>社会:</b> 学外機関での実践 研究成果公表 学会活動
	<b>心理:</b> 現場研究の実施 研究チーム参画 論文執筆	<b>生物:</b> 知識のアップデート <b>心理:</b> 知識のアップデート 領域別アプローチ 問題別アプローチ システムオーガニゼーション	<b>心理:</b> 多職種協働 チームワーク ストレスマネジメント <b>社会:</b> 学会活動 実習生教育

18

# 段階的・包括的カリキュラム



# 専門職教育の場



## カリキュラムのポイント

### ①教育内容:組織の中で役に立つ専門職の育成

実践者モデル ⇒ 研究者－実践者モデル

個人臨床教育 ⇒ 生物－心理－社会モデル  
多職種協働、チームワークの教育

### ②教育方法:教育現場と臨床現場の有機的連携による効果的教育

心理教育相談室モデル ⇒ 現場研修モデル

### ③教育対象:時代とともに変化する問題や援助技法のアップデート

学生 ⇒ 現場の専門職含む

面接室の中の臨床 ⇒ “組織や社会”の中の臨床  
大学の中の教育 ⇒ “現場”との有機的相互作用<sub>21</sub>